

《 議会事務局 令和8年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

事務局長

田中 三男

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

議会事務局は、議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供し、議員の議会活動を補佐することを使命として、草津市議会基本条例に示された「市民に開かれた議会」、「政策の立案や提言を行う議会」、「行政の監視および評価を行う議会」の3つを柱として、機能充実が図れるように努めます。

●本会議のインターネット中継や草津市ホームページでの広報、議会だよりの発行等、積極的な情報提供を通じて「市民に開かれた議会」の実現に努めます。

●議会としての政策形成能力や審査機能の向上を図るため、これまでの取組の経過をふまえた議会改革の推進に努めます。

【重点事項】

- 議会改革を通じた議会の充実強化に努めます。
- 本会議や委員会の運営をはじめとする議会運営のサポート体制の充実に努めます。
- 時代の変化に合わせた議会の情報発信の充実に努めて、市民の議会への理解および関心向上を図ります。
- ICT活用を基盤とした議会DXの促進により、議会活動の効率化を図ります。

【健康都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

【見 積】令和8年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和8年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	255,782	255,782	・「市民に開かれた議会」の実現に向け、既存のインターネット中継の質を高めるとともに、広報広聴機能のさらなる充実に努めます。 ・委員会活動をより一層活性化させるとともに、必要に応じて先進事例の調査研究を実施します。 ・リース契約が満了した議場システム機器や委員会室等の音響機器、アクセスポイント、公用車(議長車)の更新を行います。
合 計	255,782	255,782	

【前年度】令和7年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	250,809	250,809	
合 計	250,809	250,809	

【増 減】(【見 積】－【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	4,973	4,973	●議員報酬費 ・期末手当率の変更による増【662千円増】 ●議会運営費 ・議会ネットワーク機器更改にかかる増【726千円増】 ・会計年度任用職員の給与改定に応じた報酬単価等の変更による増【417千円増】 ・委員会室等音響機器設備一式の更新に伴う増【4,634千円増】 ・議会用アクセスポイント更新一式に伴う増【276千円増】 ・BYODの導入に伴い、タブレット端末の通信を解約したことに伴う減【1,203千円減】 ・議会活動に使用する機器の更新に伴い、故障時に対応するために計上してきた修繕料の減【299千円減】
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	4,973	4,973	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

[illegible]

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
議事庶務課	16,024	20,658	▲ 4634	0	0	0	●委員会室等音響機器設備一式(賃貸借) 【4,634千円】 機器設備の老朽化により、度重なる不具合が発生しており、委員会運営に支障をきたす恐れがあります。また、耐用年数を大きく超過しているため、故障時の部品調達や修理対応が不可能となるリスクが高く、速やかな更新が必要です。 しかしながら、更新には多額の費用がかかることから、現行の枠配分額を超過するものです。
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	16,024	20,658	▲ 4,634	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について